

●平日夜間診療・休日診療のお問合せは、下記へお尋ねください。

海部地区急病診療所 ☎25-5210

ホームページ <http://amaq.sakura.ne.jp>



- 内 容 くすり、医療用品等に関する
緊急の相談、質問、問合せ
- 電話番号 090-2136-3858
- 対応時間 午後9時～翌朝9時

＜内科＞は、海部地区急病診療所で行っています。

5月			
1 (日)	後藤整形外科	25-5511	津島市
3 (火)	わたり整形外科	052-449-6699	あま市
4 (水)	森整形外科クリニック	052-445-5050	あま市
5 (木)	こじま整形外科	25-9911	愛西市
7 (土)	鏡本整形外科	28-8838	愛西市

●「171」をダイヤルし、利用ガイダンスにしたがって
伝言の録音・再生をしてください。

再生

「よく噛む」ことは単に食べ物を消化するだけでなく、脳を活性化させ、生きる力をわせたり、過度な食欲を抑制する作用もあります。その鍵をにぎるのが、歯と顎の骨の間にある「歯根膜」と呼ばれる薄い膜です。歯と顎の骨の間でクッションの役割を果たす、口の中にあるセンサーの二つで、噛んだものの硬さや厚さを敏感に感じ取り、その情報を脳へ伝える役割を果たしています。

齒根腺は、脳神経の中でも最も太い三叉神経につながっています。「よく噛む」ことで歯根膜に伝わった刺激は脳の中の、感覚野(感覚)、運動野(運動をコントロール)、海馬(記憶の中枢)、前頭前野(思考やコミュニケーション)、線条体(やる気や意欲をつかさどる部分)に伝わり、広範囲にわたって脳が活性化されるのです。つまり、「よく噛む」ことで記憶力や思考力、やる気など、生きるために重要な力がみなぎってくるのです。

「よく囁む」ことによる刺激が歯根膜から脳の「結節乳頭核」という部分に伝わると、脳内で「ヒスタミン」が量産されます。ヒスタミンは、鼻づまりやかゆみなどのアレルギー反応を引き起こす物質として知られていますが、脳の中では満腹中枢を刺激する性質があり、過度の食欲を抑制してくれます。加えて、ヒスタミンは、交感神経も刺激し、その刺激が内臓脂肪に届いて、脂肪まで減らしてくれるのです。

「嘔む」という行為は人間が生きていく上で非常に重要なことです。いつまでもしつかり元気に嘔み続けられるよう、健康な歯を保ち続けることが、健康長寿の必須条件と言えます。